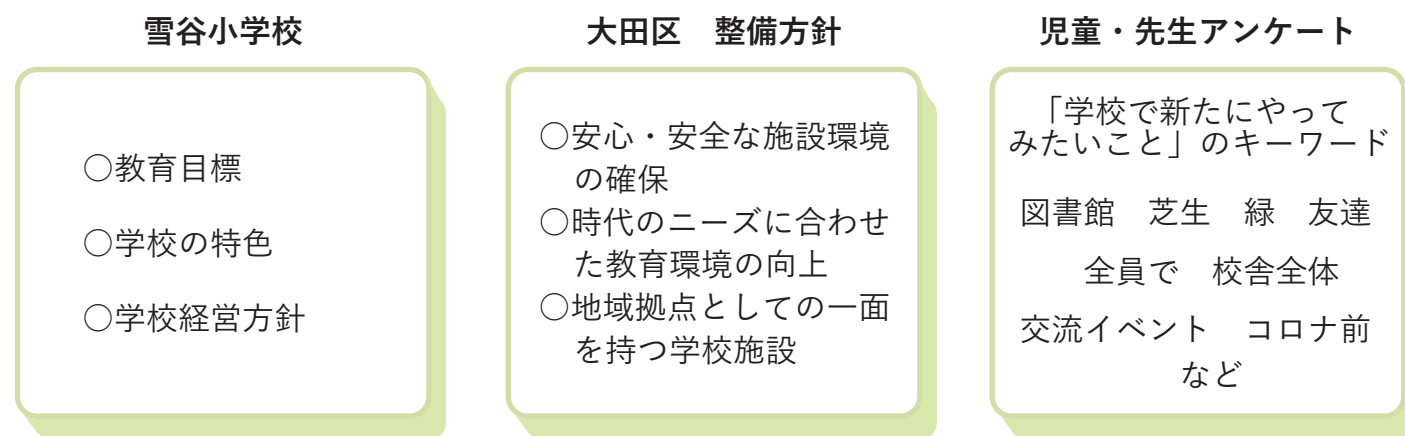


1 基本構想・基本計画の策定に至る背景

雪谷小学校は、校舎の大半が築 50 年以上経過していること、隣地敷地を購入済みで改築時に仮設校庭や工事ヤードの確保が可能であること、周辺に大規模工事が無いことから、改築を進めることとしました。

2 基本構想

雪谷小学校の特徴や教育目標、大田区の上位構想等との整合性を図りながら、児童・教職員のアンケートで寄せられた新しい雪谷小学校へのご意見をもとに、基本構想を作成しました。



■改築コンセプト

ふれあい

～ 自然とふれあい、学びとふれあい、人とふれあう ～

- 1 自然に囲まれ、四季を感じ、豊かな感情を育む環境
- 2 図書室を中心とした、新たな知識との出会いの場
- 3 仲間との絆を深め、地域とのつながりを生み出す広々とした空間

3 基本計画の策定にあたって

学校改築の基本的な考え方をまとめるため、大田区では、令和 7 年度より「雪谷小学校 学校改築懇談会」を設置し、具体的な検討に着手しました。

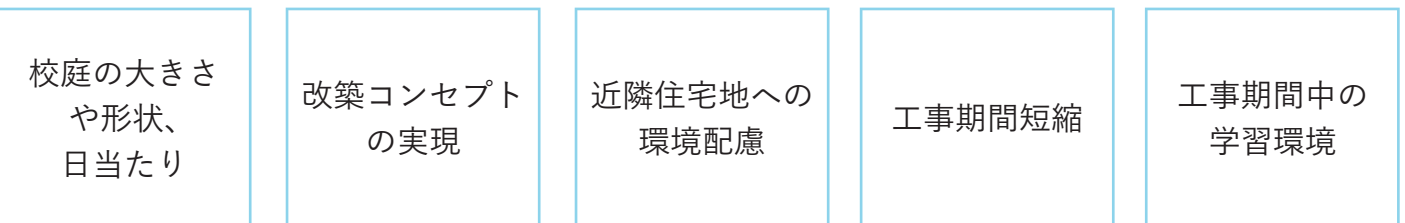
学校改築懇談会において、基本構想についてご理解いただき、意見交換やワークショップ等を活用し、協議・検討を重ねながら、基本計画の策定を進めてまいりました。

4 改築における前提条件及び方針

- 1 改築全体の工事期間短縮を前提とした上で、学校を運営しながら雪谷小学校敷地内での建替えを行う。
- 2 工事期間中は、体育館、校庭等が使用できない期間が発生しないよう、工事ステップを計画する。
- 3 改築後は、既存より広い人工芝の校庭と天然芝エリアを設け、プールは近隣施設を利用する。

5 現状の配置と改築後の配置案

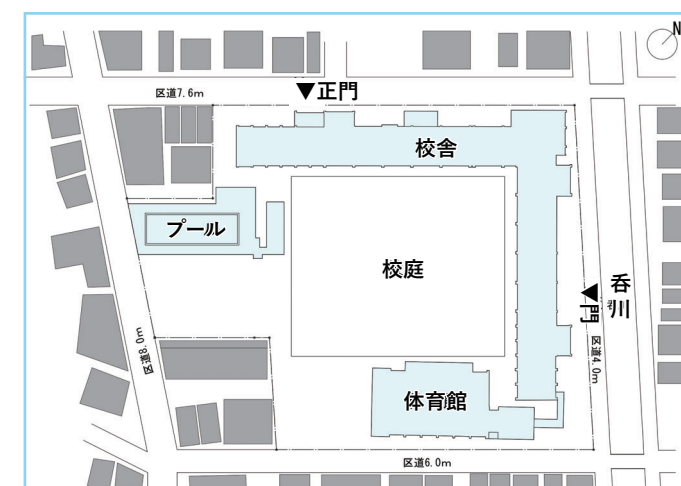
上記の「4 改築における前提条件及び方針」を踏まえ、以下のような様々な視点から複数の「新しい雪谷小学校の配置案」を比較・検討し、配置案を選定しました。



選定に至った理由は以下の通りです。

1	校庭が南側に配置されるため、日当たりが良好である
2	改築コンセプトを最も効率的・効果的に反映できる
3	近隣への環境変化を抑えられる
4	校舎と体育館を一体で整備するので、工事期間が最も短く、児童への負担を抑えられる
5	コンパクトな校舎配置により、施設運営が行いやすい

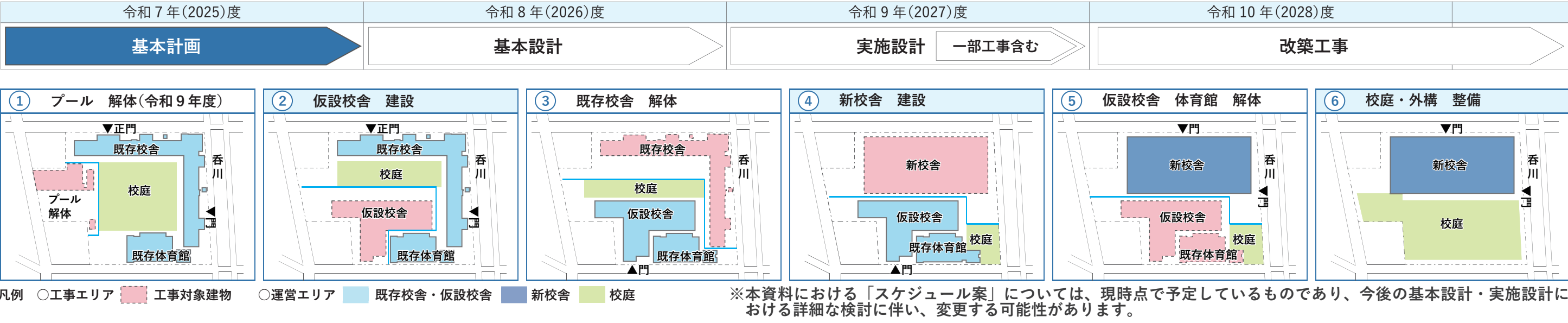
現状の配置図



改築後の配置図



6 スケジュール案及び工事ステップ



7 新校舎のゾーニング案

改築コンセプトを踏まえた各教室などのゾーニング案は、下記の図のとおりです。

